

第5投目：船長ありがとう！大うねりの中でヒヤヒヤ

2011.2月某日、風は東、波2.5mとついに私が休みの日に西側の磯に行けそうな天気となりました。しかし前日までの風は北、西に走ってもけっこうなうねりは残っているだろうと予想しながら、渡船は午前5時に古仁屋港を出港しました。

赤瀬に他の釣り客を降ろし、夕離れ近辺に到着。まだ夜が明けず暗い中でしたが、船の上下でうねりが大きいことが感じられます。

船上で船長が『磯から落ちたときは磯に戻ろうとせず、離れるように泳げよ』とか『今日流されたらどこで引き上げようか(笑)』などと言うので、私の不安はさらにかきたてられます。そうこうしているうちにやっと明るくなってきました。

私が狙っていたM瀬には北からの大きなうねりがあたり、たまに釣り座がちょっとしか残らないような状況です。しかしちょうど今は満潮、この後潮が下がってくればなんとかなりそうです。バツカンと竿、タモ、ドンゴロスだけを持ってM瀬にしがみつくように渡りました。

船上からすでに確認していたのですが、今日は良い勢いで上げ潮がキレてました！船長には気苦労させるかもしれませんが、今日この磯に降りたかった理由はそこ。四方八方がときおり一面サラシになるため、タイミングをみながらの仕掛け投入を繰り返します。

午前8時ごろ、一瞬うねりが収まる時間がありました。ずっと仕掛けが落ち着かなかったポイントで初めて仕掛けがなじみます。それでもほんの5秒程度です。次の瞬間、ウキが斜めにヒュルル~としもっていき、合わせを入れます。掛けた魚は最近では味わったことない重量感とスピードでシモリに向かって走りますが、ある程度竿でためた後、オープンベールで竿の角度を立て直すとすぐに走る方向が変わりました。

『おやっ~ これはクロじゃ』いい予感がします。深場に魚を誘導し、ゆっくり浮かしてみるとやはりクロ！水面が2mほど上下するのでタモ入れにはかなり苦労しましたが51cmの良型をゲットしました。



その後、下げ潮のサラシの中でウキを食べようと(笑)浮いてきた2枚目をゲットし、3枚目は干潮潮止まりにサラシと潮がぶつかる沖目の潜り潮でのヒットでした。

大きなうねりの中、ヒヤヒヤしながらの釣りでしたが結果は3枚。ずっと磯の様子を見守ってくれた船長に感謝×2の釣行となりました。